

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月23日

上場取引所 東

上場会社名 ハチパン

コード番号 9950

URL <http://www.hachiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 克治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 酒井 守一

TEL 076-292-9950

四半期報告書提出予定日 平成27年7月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年3月21日～平成27年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,933	15.1	1,784	15.5	180	118.5	290	67.6	175	81.4
27年3月期第1四半期	1,679	2.4	1,544	2.8	82	△12.5	173	△7.7	96	△6.8

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 276百万円 (51.0%) 27年3月期第1四半期 182百万円 (73.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	11.26	—	—	—
27年3月期第1四半期	6.04	—	—	—

(注)営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
28年3月期第1四半期	6,089	65.6	4,028	65.9	—	—	258.46	—
27年3月期	5,692	65.9	3,783	65.9	—	—	242.75	—

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 3,993百万円 27年3月期 3,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00	—
28年3月期	—	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00	—

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年3月21日～平成28年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	3,880	8.8	3,584	9.2	275	16.3	380	8.8	218	9.9	13.98	—
通期	7,520	7.4	6,947	7.9	414	49.2	528	27.6	289	39.5	18.54	—

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	16,040,558 株	27年3月期	16,040,558 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	455,780 株	27年3月期	455,490 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	15,584,923 株	27年3月期1Q	16,016,360 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数字と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の推進により、円安・株高傾向が続き、国内景気は回復基調を持って推移しておりますが、消費税率引き上げ後の個人消費動向に弱さがみられ、依然として先行きに不透明感が残る状況となっております。

外食産業におきましても、消費者の節約志向は依然として強く、また、円安による原材料価格の上昇や、人手不足を背景とした人件費関連コストの負担増、異業種との競争が続くなど、引き続き厳しい状況が続いております。

一方、当社グループの国内における事業基盤がある北陸地方では、北陸新幹線開業による経済効果は高く、主要駅周辺を中心として活況を呈しております。

このような状況のもと当社グループは、「食の安全・安心」の向上はもとより、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの向上に努め、お客様の信頼を最優先に、事業活動を展開してまいりました。

当社グループの店舗展開の状況につきましては、加盟店2店舗（福井県、タイ国）を新規出店し、店舗数は263店舗（前連結会計年度末比2店舗増）となっております。その内訳は、国内店舗ではらーめん店舗133店舗、和食店舗12店舗（合計145店舗）、海外店舗は118店舗であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度に開店した店舗業績が寄与したことなどにより17億84百万円（前年同期比15.5%増）、営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、19億33百万円（前年同期比15.1%増）となりました。営業利益は1億80百万円（前年同期比118.5%増）、経常利益は2億90百万円（前年同期比67.6%増）、四半期純利益は1億75百万円（前年同期比81.4%増）と大幅な増収増益となりました。

セグメント別の状況につきましては次のとおりであります。

①外食事業

(らーめん部門)

8番らーめんフランチャイズチェーンの国内展開を主とするらーめん部門では、店舗の改装・移転による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの維持向上に取り組み、来店客数の増加に努めております。

前連結会計年度に引き続き、主力商品である「野菜らーめん」の品質向上に重点を置き、調理技術の向上のための店舗巡回指導に注力するとともに、調理資格であるフライパンマイスター、接客サービス資格であるサービスマイスターや接客リーダーの各社内資格の取得を推奨し、そのための講習会もチェーン全体で展開しました。

8番らーめんフランチャイズチェーン既存店売上高は、これらの諸施策や北陸新幹線開業に合わせた積極的なPRプロモーションを行ったことなどにより、前年同期比6.3%増となりました。

店舗展開の状況につきましては、福井県で加盟店を1店舗新規出店し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は133店舗（うち加盟店115店舗、直営店18店舗、前連結会計年度末比1店舗増）となりました。

(和食部門)

和食料理店を直営店方式により展開する和食部門においては、個店ごとの店舗特徴や立地特性をよりアピールするほか、季節の変化に応じた健康志向メニューの提供に取り組み、来店客数の増加に努めております。

「地酒と手造り料理 八兆屋」では、季節毎の食材を使った健康志向メニュー「季節のそば膳」を継続して販売しており、ランチタイムの主力メニューとなっております。

既存店売上高は、これらの営業諸施策や、北陸新幹線開業による観光客や地元顧客の増加などにより、前年同期比14.8%増となりました。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗（前連結会計年度末比同数）であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は16億11百万円（前年同期比14.6%増）、経常利益は2億60百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

②外販事業

当社製品を主要販売品目とする外販事業は、より付加価値のある商品の開発と提案に努め、生麺ブランド「八番麺工房」、冷凍生餃子を、地元スーパーマーケット様を始めとして、国内各地の生活協同組合様、量販店様を中心に販売の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、より厳しさを増す生麺市場の販売競争の中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億70百万円（前年同期比3.3%増）、経常利益は7百万円（前年同期比7百万円増）となりました。

③海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンの海外展開ならびに主としてラーメンスープ・エキスの食材の輸入と販売を行う海外事業においては、既存出店地域での新規出店、スクラップアンドビルドに取り組むほか、高品質なラーメンスープ・エキスの開発と生産体制の充実増強に努めております。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、タイ国で1店舗の出店があり118店舗（うちタイ国111店舗、香港7店舗、前連結会計年度末比1店舗増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、タイ国での店舗売上好調に加え、スープ・エキス売上の増加により、1億51百万円（前年同期比40.5%増）、経常利益は57百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円増加して60億89百万円（前連結会計年度比7.0%増）となりました。これは主に、売掛金が1億56百万円、投資有価証券が1億27百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億51百万円増加して20億60百万円（前連結会計年度比7.9%増）となりました。これは主に短期借入金が2億48百万円、未払法人税等が62百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億44百万円増加して40億28百万円（前連結会計年度比6.5%増）となりました。これは主に利益剰余金が1億44百万円、その他有価証券評価差額金が97百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期及び第2四半期（累計）における連結業績予想は、平成27年4月30日に公表しました「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273,610	250,937
売掛金	420,929	577,891
商品及び製品	89,710	101,224
原材料及び貯蔵品	24,474	25,780
繰延税金資産	59,351	76,232
その他	178,214	244,499
流動資産合計	1,046,290	1,276,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	865,426	850,524
機械装置及び運搬具(純額)	344,275	335,876
工具、器具及び備品(純額)	192,912	188,816
土地	1,073,094	1,073,094
建設仮勘定	—	2,677
有形固定資産合計	2,475,708	2,450,989
無形固定資産	42,808	40,517
投資その他の資産		
投資有価証券	1,450,983	1,578,074
長期貸付金	57,570	123,552
関係会社出資金	64,001	64,001
差入保証金	323,529	322,957
保険積立金	223,079	223,773
その他	29,243	31,306
貸倒引当金	△20,465	△22,712
投資その他の資産合計	2,127,942	2,320,953
固定資産合計	4,646,460	4,812,459
資産合計	5,692,750	6,089,024

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	291,403	320,746
短期借入金	171,702	419,996
未払法人税等	66,618	129,466
賞与引当金	88,521	131,853
未払費用	331,263	282,498
その他	310,351	112,010
流動負債合計	1,259,860	1,396,570
固定負債		
長期借入金	177,343	159,847
長期末払金	213,751	213,751
繰延税金負債	85,144	117,804
長期預り保証金	173,271	172,881
固定負債合計	649,509	664,283
負債合計	1,909,369	2,060,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,411,848	1,411,848
利益剰余金	802,218	946,611
自己株式	△237,687	△237,854
株主資本合計	3,494,834	3,639,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250,090	347,644
為替換算調整勘定	6,206	6,903
その他の包括利益累計額合計	256,297	354,547
少数株主持分	32,249	34,561
純資産合計	3,783,381	4,028,169
負債純資産合計	5,692,750	6,089,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)
売上高	1,544,420	1,784,307
売上原価	784,092	893,692
売上総利益	760,327	890,615
営業収入	135,335	149,596
営業総利益	895,662	1,040,212
販売費及び一般管理費		
運賃	65,276	68,853
役員報酬	25,775	25,839
給料及び手当	308,040	331,847
賞与引当金繰入額	40,016	38,709
退職給付費用	4,558	4,437
地代家賃	60,132	69,864
水道光熱費	42,933	43,665
減価償却費	18,592	24,911
その他	247,658	251,474
販売費及び一般管理費合計	812,986	859,604
営業利益	82,676	180,608
営業外収益		
受取利息	2,236	2,168
受取配当金	86,359	101,722
受取地代家賃	12,997	10,839
持分法による投資利益	—	1,982
その他	5,482	4,348
営業外収益合計	107,075	121,061
営業外費用		
支払利息	676	766
貸貸費用	12,474	10,578
持分法による投資損失	2,936	—
その他	482	31
営業外費用合計	16,570	11,377
経常利益	173,181	290,292
特別損失		
固定資産除却損	22	32
特別損失合計	22	32
税金等調整前四半期純利益	173,159	290,260
法人税、住民税及び事業税	83,500	124,000
法人税等調整額	△8,239	△11,342
法人税等合計	75,260	112,657
少数株主損益調整前四半期純利益	97,898	177,602
少数株主利益	1,109	2,038
四半期純利益	96,789	175,563

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月21日 至 平成27年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,898	177,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,529	97,553
為替換算調整勘定	2,136	533
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,733	435
その他の包括利益合計	84,932	98,523
四半期包括利益	182,831	276,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,632	273,813
少数株主に係る四半期包括利益	2,198	2,311

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年3月21日 至平成26年6月20日）
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	1,406,433	165,247	108,075	1,679,755	—	1,679,755
セグメント間の内部営業収益又は振替高	113,780	3,535	15,434	132,750	△132,750	—
計	1,520,213	168,782	123,510	1,812,505	△132,750	1,679,755
セグメント利益	185,769	114	40,050	225,934	△52,753	173,181

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△52,753千円には、各セグメント間取引消去379千円、各セグメントに配分していない全社費用△53,132千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年3月21日 至平成27年6月20日）
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	1,611,327	170,712	151,865	1,933,904	—	1,933,904
セグメント間の内部営業収益又は振替高	127,189	3,195	16,759	147,144	△147,144	—
計	1,738,516	173,908	168,624	2,081,049	△147,144	1,933,904
セグメント利益	260,887	7,636	57,174	325,698	△35,406	290,292

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△35,406千円には、各セグメント間取引消去416千円、各セグメントに配分していない全社費用△35,822千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。